ninoyu satoshi

発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310

発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

平成25年 No.252 1・2月合併号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

第2次安倍内閣順調な滑り出し 自信にあふれた予算委員会での答弁

前途に待ち構える難問

昨年末に発足した第2次安倍内閣は、閣僚に党内実力者、政策通を配して重厚、安定した内閣で、順調な滑り出しである。各種の世論調査によると安倍内閣の支持率は高い。24年度補正予算を審議する衆議院予算委員会では野党の質問に対して、理路整然、堂々と答弁しており、昔の安倍氏と全く違っている。自信に満ち溢れ、まさに苦労が人間を作った感じがする。6年前の突然の退陣によって、自民党政権から民主党政権へのきっかけを作った張本人で、各方面から無責任と強く非難され、政治生命さえ危ぶまれた。退陣以来5年の苦節に耐え、努力を重ねて信頼回復に努めてきた。だが、今は順調であるが、内外ともに課題山積である。TPPへの参加の是非、尖閣をめぐる日中紛争、北朝鮮の核実験、そして国内の経済再生と景気回復等、どの問題も一筋縄ではいかない。これからが安倍首相の真価が問われる。

自信に満ち溢れた予算委員会での安倍首相

恒心

★かって地方公務員の給料、特に現業部門の職員の給料が民間と比較して、余りにも高過ぎると強く批判された。国民の厳しい声に耳を傾け、その後、地方自治体は行財政改革を進め、歳出削減にかなり努力をしてきた★例えば京都府の一般会計に占める人件費の割合が最高の時(昭和53年度)は、53・3％であったが、平成25年度は31・2％にまで下がると予想される。京都市では昭和55年度の職員数2万人から平成24年度では1万4千人を切っている。地方議会も定数削減を実施し、協力してきた。★それでも、いまだに国家公務員よりも高い地方自治体があると国は指摘する。今回国家公務員の給料を7・8％削減するので地方も国家公務員に合わせ、給料削減に協力してほしいと地方6団体に要請があった。★6団体は最初はとても飲めないと強気の姿勢を見せており、ひょっとすると地方と国の対立にまで発展するのではないかと思っていたが、「泣く子と地頭には勝てない」のことわざどおり、地方側は簡単に引き下がってしまった。★今回の政府の地方への要請は二つの点で少し納得がいかない。一つは地方公務員の給料は、知事や市長の任命権者から独立した公正、中立の地方人事委員会の勧告に基づいて決定される方式になっている。知事や市長の一存で決定出来ない。★二つ目は 安倍内閣は景気を回復し、雇用を拡大し、働く人の収入を増やし、そして消費を伸ばして、経済を再生する政策を推進している。政府は先日も経済界の代表に賃金アップを要請した。地方公務員の給料削減要請はこれと矛盾しないか。地方の活力なくして、国の活力は生まれないと思う。

TPPを巡り激しい議論 反対、推進の議員が頻繁に会合

安倍首相の訪米を控え、環太平洋経済連携協定（TPP）参加是非をめぐって、自民党内の議論が沸騰している。聖域なき関税撤廃を前提とするかぎり、TPP交渉参加に入ることも罷（まか）りならぬ、と声を荒げて反対する議員軍団は約200人の反対署名を集めたと発表。一方、TPPはもはや避けて通れない、TPPは日本経済の再生、産業競争力の強化の強力な方途である。TPP交渉において①絶対に譲れぬものは何か②獲得すべきものは何かと前向きに勉強しようとする人達も約40人が集まり会合を持った。先の総選挙での政権公約には、TPPは反対派が言う通り、「聖域なき関税撤廃を前提とする限り交渉参加に反対する」と明記されている。公約を掲げて選挙を勝ち抜いてきた議員達の主張は筋が通っており、耳を傾けなければいけない。ただ自民党の公約の項目数は数百に及び、TPPだけで選挙を戦った訳ではない。しかし、農業自給率の低下、医療保険制度の崩壊など、日本の国益を十分に考えなければならない問題もある。一方経団連はじめ経済界からは、早く交渉に入らないと日本の主張が通らない、バスに乗り遅れるなと心配する声が高まってきている。安倍首相は当初、TPPに前向きの様子であったが、党内の強い反対の声に押し切られ、日米首脳会議の議題にしない方針を決めたようだが、日本側だけの都合で済ませられるものか、予断を許さない。さらに経済財政諮問会議、産業競争力会議、規制改革会議などのメンバーには、TPP推進派が多いのではないか。この人達が首相にどのようなアドバイスをするのか。TPPを巡る自民党内の議論も最終段階を迎えつつある。

伊吹文明氏議長に就任 第74代、京都で4人目

伊吹文明氏

総選挙後の12月26日、特別国会が開かれ、伊吹文明氏（京都第1区）が第74代衆議院議長に選出された。衆議院は国権の最高機関であり、その長は公正、公平に院を運営する責務があり、人物、識見ともに優れた人物でなければならない。伊吹代議士は当選10回のベテランで、労働大臣、国家公安委員長、文部科学、財務大臣を歴任、自民党では幹事長を経験し、自他共に許す党内切っての政策通である。衆議院議長という重いポストは伊吹氏以外にないという党内の空気であった。最近は若い地方議員が増えて、京都出身の昔の政治家の名前を知らない人が多くなった。そのため伊吹氏が京都で初の衆議院議長であると思っている人が多いが、京都府からは過去に3人の議長が生まれている。戦後では京都2区から当選12回を重ね、自民党幹事長として池田内閣を支えた前尾繁三郎氏（京都2区）が、昭和48年に第58代議長となり、3年7ヶ月の長期間務めた。一番古い議長は大正3年に第18代、大正9年に第21代と2度務めた奥繁三郎（綴喜郡八幡町出身）氏である。奥氏は衆議院議員を8期務め、平民宰相・原敬の側近として活躍、政友会の幹事長を務めた有力政治家であった。昭和2年に京都市会議員を兼職していた森田茂氏（上京区より府会、市会議員）が第24代議長に就任、議長退任後の昭和6年には京都市長に公選されている。

奥繁三郎氏

森田茂氏

前尾繁三郎氏

第80回自民党定期党大会 3月17日に開催

自民党定期党大会は3月17日、東京高輪の「グランドプリンスホテル新高輪」で開催される。当日は夏の参議院選挙に立候補する予定候補者が紹介される。

谷垣禎一氏 法務大臣に

法務大臣の権威回復を

12月26日、第2次安倍内閣の発足に伴い、谷垣禎一氏（京都第5区）が法務大臣に就任した。大臣といえば、財務、外務、経産大臣などはマスコミに頻繁に登場するので、一般国民に馴染み深いが、法務大臣は堅ぐるしいイメージで、国民から少し遠い存在である。京都からの法務大臣は、昭和46年に前尾繁三郎氏、昭和48年に田中伊三次氏（京都2区）が就任しており、谷垣氏で3人目である。法務大臣は法治国家日本では、法の番人として非常に重要なポストである。しかし、平成21年9月に民主党政権の誕生から、23年12月の政権交代まで、実に10人の法務大臣が誕生、平均在任期間は約4ヶ月間であった。民主党内閣で法務大臣はあまりにも軽く扱われ、大臣の権威が失墜してしまった。弁護士でもあり、公平無私、人格高潔な谷垣氏によって、法務大臣の権威を再び取り戻してもらいたい。

法務大臣室にて

二ノ湯議員、ベトナムへ
参議院ODA派遣団長

ODA(政府開発援助)に取り組んでいる参議院では、毎年開発援助国へ議員を派遣している。派遣地域はアフリカ、中央アジア、東南アジア・大洋州地域、南西アジア地域。平成24年度は総選挙等があり、派遣が遅れていたが、3月に派遣することが決まった。二ノ湯議員は3月8日～13日の予定でベトナムへ団長として行くことになった。日本は1992年から対ベトナム援助を本格的に実施、諸外国を抜いて最高の援助をしている。ベトナムは人口約8700万人で、親日的であり、近年経済発展が著しい。反面、工業化、都市化に伴う国内所得格差、都市・農村格差、環境汚染、都市部における交通渋滞も拡大しつつある。これらの課題解決に向けたベトナムの取り組みを日本が積極的に支援していくことは、ベトナムの持続的経済成長を支え、日本とベトナムの関係強化につながる。東南アジア諸国は、領土的野心を拡大しつつある中国に対して非常に強い警戒感を持っており、経済大国日本との関係を強化したい意向である。日本も中国をけん制するためにも、東南アジア諸国との関係を一層深める必要がある。

許せない北朝鮮の核実験
一層強い金融、経済、人物交流制裁を

若い指導者に替わって北朝鮮情勢が少しは良くなるのではないかと期待されたが、またもや裏切られた。北朝鮮は去る12日核実験を強行した。昨年12月12日の弾道ミサイル発射といい、北朝鮮の意図は全くわからない。いくら国連安保理で非難決議案を採択し、衆参両院で「断じて容認出来ない暴挙」と非難決議をくり返しても、北朝鮮は全く聞く耳を持たず、我が道を行っている。最も影響力のある中国が北朝鮮へ圧力をかけてほしいが、中国の態度も煮え切らず、あまり期待出来そうにない。北朝鮮の態度が全く変わらないのは、まだまだ制裁が生ぬるいのではないか。安倍首相とオバマ大統領は「金融制裁を強化する」ことで一致したが、もっと実効性のある制裁を強化しなければならない。いまだに朝鮮総連合会の幹部は日本と北朝鮮を自由に往き来しているし、朝鮮総連の支配下にある朝鮮学校の子供達は北朝鮮に修学旅行に行って洗脳教育を受けている。彼らが、密かに現金を持参しているのは明らかであり、これも止めさせなければならない。多くの日本人同胞が拉致され、故国に帰りたいと日夜泣いている。金融、経済制裁だけでなく、人の交流制限など新たな制裁を含む断固たる措置を講ずる必要があるのではないか。こんな無法国家の横暴は絶対に許してはならない。

西田参議員の新しいポスター
現職も油断ならない選挙情勢

7月下旬に執行される参議院通常選挙に、京都選挙区より自民党公認候補者として西田昌司参議院議員が立候補する予定である。京都は定数2で、自民党にとって一見楽な選挙情勢と思われるが、3極、4極選挙となる可能性が高く、決して油断ならない。このほど予定候補者西田氏の新しい事前ポスターが制作された。新しいポスターは1区から6区までの現職の衆議院議員、二ノ湯参議院議員とのペアーで、かなり大型サイズである。大きいだけに民家で貼る場所を確保するのは難しい。最近各地で見られるようになってきたが、まだまだ貼る必要がある。二ノ湯事務所では一人でも多くの協力者を求めている。

参議院滋賀県選挙区候補者
公募方式で
二之湯武史氏を選考

昨年末、自民党滋賀県連は今年夏に行われる参議院選挙の候補者を公募によって選考することに決めた。審査基準は、①日本を担い国民のために生きる覚悟と決意のある人②広い見識を持ち、創造力に富む人③実行力と行動力を有する人④常識を備え、清潔で清新な人⑤自民党の理念に賛同し、党勢拡大に向けて意欲と熱意のある人の5項目。小論文「日本の未来への提言」の審査、面接、自己アピール、討論などを経て決定することになっていた。2月17日に最終の選考会が開催され、智の長男、二之湯武史氏(36)が決定した。武史氏の信条は「人生の成功は、能力ではなく熱意で決まる」。

二之湯武史氏の略歴

2000年 京都大学経済学部卒業
　　財団法人松下政経塾入塾
2003年 稲盛財団フェローに選抜
2005年 株式会社ＣＬフォーラム設立

人生の成功は、
能力ではなく熱意で決まる!

自民推薦西谷氏、町長に初当選

宇治田原町長選、新人同士の戦い

奥田町長の勇退に伴い、新町長を選ぶ宇治田原町長選挙は、自民党推薦の前町会議長西谷信夫氏（53）と前副町長坊嘉宏氏（61）の一騎打ちとなったが、激しい戦いの末、西谷氏が256票の差で、勝利した。町長選レベルでの政党推薦は珍しいが、自民党青年局で活動していた西谷氏は、あえて自分の政治的立場を明らかにして立候補し当選した。町長になった以上、町民全体の奉仕者としての気持ちを忘れずに、一党一派に偏せず、公平公正な町政執行を行ってもらいたい。

町長として、国会を表敬する西谷氏
（右より、二ノ湯参議員、
西田参議員、西谷町長、安藤衆議員）

身辺雑記

一、巨人、大鵬、卵焼きと言われた大相撲の元横綱大鵬（納谷幸喜）が亡くなった。か細い体の十両時代から、大鵬の相撲を知っている。我々の青春時代のヒーローであり、時代の顔でもあった。それだけに、寂しさは一入（ひとしお）である。

一、一方こちらは野球。石川星陵高、巨人、そしてヤンキースと華々しい活躍をした松井秀喜選手が引退を表明した。高校時代から見ているが、穏やかな性格で怒った顔を見たことがない。野球も一流だが、人間も出来ている。

一、アルジェリアの天然ガス精製プラントで働いていた日揮の社員10人がテロリストの手によって殺害された。遠いアフリカの地で、日本経済のために働く企業戦士に敬意を表すとともに、改めて日本企業のグローバル化を知らされた。

一、大阪桜宮高校の体罰によると思われる自殺問題に端を発し、運動部の体罰問題が大きな社会問題となっている。その上、今度は柔道女子日本代表の監督による暴力問題が明らかになった。この問題が東京オリンピックの誘致活動に悪影響を与えるのではないか。

一、夏の参議院選挙からインターネットを利用して、自由に選挙活動が、出来るようになりそうだ。我々世代の人間は、なかなかついていけないが、新しく当選した若い議員たちは、それが時代の流れと当然のように受け入れている。

一、この世の中いったい何が起こるかわからない。日本人が比較的気楽に出かける保養地グアムでの無差別殺人事件。３人の日本人が、犠牲となった。３歳の子供をかばって殺された若い母親が可哀想でならない。

一、突然空の上から、強烈な光と熱を持った物体が、地球を目がけて飛んできたら、腰を抜かすほどびっくりするに違いない。ロシア南部での隕石の落下は、見た人は誰もが一瞬核の奇襲攻撃が始まったぐらいに思ったのではないか。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：**みんなで政治を考える会**

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　１万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

「日本真生塾」 第30回・第31回例会のお知らせ

平成25年3月25日(月)　18時～21時

平成25年4月15日(月)　18時～20時

場所：**龍谷大学アバンティ響都ホール**（京都駅八条口前アバンティ9F）

★今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。

＜お問い合わせは事務局へ＞（担当：近藤）
TEL：050−7544−4018　メール：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp
内容・年会費など詳しくはホームページをご覧ください。日本真生塾 で検索。
日本真生塾　塾長　**岡本幸治**

京都府議会議員

二ノ湯しんじと共に 京都の力をしんじる夕べ

日時　**平成25年3月12日(火)**
18：00～講演・対談　19：30～懇親会

場所　**東映太秦映画村**

会費　**6,000円**

皆様方の多数のご参加をお待ち致しております

お問合せ・お申し込み　**二ノ湯さとし事務所**（京都事務所）
TEL075-315-2228　FAX075-315-2310